

平成 27 年度 一般試験 解答・解説

問 25

解説

施工計画

正解(2)

- (1) 受注者は、施工計画を立案する前に、契約書や設計図書の内容を確認し、関係機関と協議する。これは、手戻り(ある作業で問題が発生したときに、既に行われた作業をやり直す必要があること)を防止するために重要なことである。
- (2) 受注者は、着工前に施工計画書を作成し、発注者に提出しなければならない。しかし、その内容について、発注者から承諾を得る必要はない。よって、(2)は不適當。
- (3) 受注者は、構造・材料・機械・工法などについて、設計変更を行うことが適切であると考えたときは、発注者と協議して必要な措置を講じる必要がある。
- (4) 施工計画書は、工事規模に応じたものとする。既に標準化されている事項を施工計画書に記述するときは、簡略化してよい。

問 26

解説

産業廃棄物管理票 (マニフェスト)

正解(1)

- (1) 排出事業者は、産業廃棄物の処理を委託する場合、産業廃棄物の種類ごとに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付しなければならない。よって、(1)は不適當。
- (2) 産業廃棄物管理票は、産業廃棄物の処分が適正に実施されたことを、排出事業者が確認するためのものである。
- (3) 排出事業者は、回収した産業廃棄物管理票を、5年間保存しなければならない。
- (4) 排出事業者は、産業廃棄物の排出抑制・減量化に努めると共に、産業廃棄物の再利用を図らなければならない。

問 27

解説

工程管理

正解(3)

- (1) 工程管理は、計画(Plan)→実施(Do)→検討(Check)→改善(Action)の手順を繰り返すことにより行われる。この手順は、PDCA サイクルと呼ばれている。
- (2) ネットワーク工程表では、横線式工程表とは異なり、工事全体の中で障害となっている工程を把握できる。
- (3) 横線式工程表では、ネットワーク工程表とは異なり、工事全体を支配する工程(クリティカルパス)が分からない。よって、(3)は不適當。
- (4) 工程管理は、工事の生産過程(工程のプロセス)を管理するものである。